

継続的なパブリッシング： 規制に準拠した薬事申請を迅速化

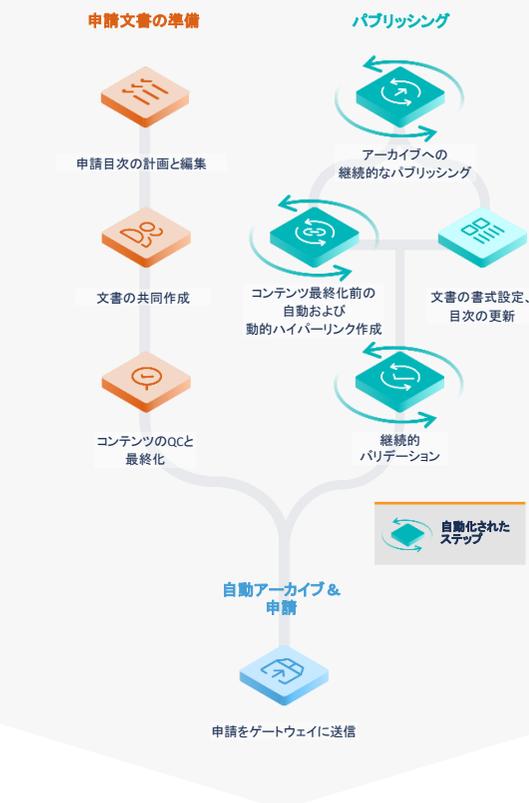
従来のパブリッシング

従来のパブリッシングプロセスは遅く、コラボレーションを妨げ、申請チームに過度の負担がかかります。

VS

継続的なパブリッシング

パブリッシングはプランニングおよび作成と並行して進行するため、申請スピードと品質の劇的な向上が実現します。



初回で承認される薬事申請が増加し、
上市が迅速化



継続的なパブリッシングのチェック方法

従来のパブリッシング

コンテンツが確定し、最終承認されるまでパブリッシングを開始できない。

文書の作成者とパブリッシャーの作業がサイロ化し、エラーやコミュニケーションの負担が増加する。

手作業によるハイパーリンク作成やメタデータ入力により、パブリッシャーの時間が無駄になる。

継続的なパブリッシング

パブリッシングがプランニングおよび作成と並行して完了するため、申請プロセスが迅速化される。

パブリッシャーと作成者の連携を通じてリスクや手直しが減る。

ステップの自動化により、パブリッシャーの時間が節約されると同時にデータ品質が向上する。

チェックポイント

- 今のシステムではタスクのプランニング、作成、パブリッシングを同時に行えますか？
- 申請文書は利用可能になった時点で自動的にバリデーションが実行されますか？
- すべてのパブリッシング活動が可視化されていますか？
- パブリッシングチームが申請文書にリアルタイムで直接アクセスできますか？
- 申請文書は送信後と承認後に自動的にアーカイブされますか？
- 今のシステムではMicrosoft WordやPDFファイルの下書きから外部ハイパーリンクが自動的に作成されますか？
- ターゲットページが変更されたときに、ハイパーリンクが自動的に更新されますか？
- 文書属性とXMLメタデータがコアバイブライン / ポートフォリオデータから自動的に継承されますか？

Unified RIMプラットフォームが継続的なパブリッシングをどう強化するのかをお確かめください